

かさまつ

青少年育成町民会議だより



発行：笠松町青少年育成町民会議広報部 事務局（笠松中央公民館内） 電話388-3231

青少年育成部会

青少年によい環境を 社会を明るくする運動

「青少年の非行・被害防止全国強調月間」及び「社会を明るくする運動強調月間」に合わせて、笠松町役場にて伝達式を行いました。また、今回初の試みとして、岐阜工業高校の生徒会・MSリーダーズに青少年の非行・被害防止の啓発の協力をしていただき、啓発物品の贈呈式を行いました。



笠松町役場にて伝達式



啓発物品の贈呈式

地域活動部会

「地域のみんなが、顔見知り」をめざして

町内で小学生、中学生の皆さんを見かけ、あいさつをしようと思いつきながら、躊躇する時があります。子どもたちから見たら私は「知らないおじさん」だからです。「子どもたちへの声かけ事案」が多く発生する昨今、学校や家庭でも「知らない人に気をつける」よう言われている子どもたち。「接し方が難しいなあ」と感じるのは、私だけでしょうか。また近年は、核家族化が進み、ご近所づきあひも減り地域の皆さんとのかかわりも希薄になってきました。

そんな中、私たち地域活動部会では、笠松の子どもたちを事件や事故から守るため、毎日登下校時の見守り活動を行っています。また、町内会と共に開催している、三世代の交流事業やラジオ体操への参加呼びかけを通して、子ども達と地域の皆さんが、顔見知りになるきっかけをつくる活動を行っています。私たちの住む笠松には、「あいさつ運動」や「会い・Eye・挨拶ラジオ体操」など長く続けられている素晴らしい行事があります。今後も積極的に協力し、「世代を越えた地域の皆さんがつながる場」を提供します。それは、子どもたちを守り育てる町づくりの一助だと思えますし、犯罪抑止や防災対策にも有効だと思います。

「常に地域の皆さんに見守られながら育った」と実感した子どもたちは、ふるさと笠松を愛し、次世代へも継承してくれることでしょう。これからも地域活動部会は、他団体と協力しながら「地域皆さんが顔見知り」になれるよう積極的に活動してまいります。

春日・東陽・常盤町の三世代交流
「手のひらサイズの門松づくり」

地域活動部会長 岩村雅人



第43回 少年の主張大会

今回は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ビデオ審査により中学生の部のみ開催しました。

中学生の部

最優秀賞

最優秀賞に選ばれた2人は岐阜圏域審査会に推薦されました。



あんどう ちひろ
安藤 千紘
「世界に依存する」



おおさわ なほこ
大澤 奈穂子
「最高の最期」

優秀賞



うすい れいた
臼井 羚太
「あなたはいじめを
していませんか」



おかもと えりこ
岡本 江里子
「価値観を認め合うために」



うさみ りょうすけ
宇佐美 諒典
「経験は生きる」

青少年の作文 テーマ「家族・学校・地域」

最優秀賞



「ぼくとちいき」
はやし ゆうま
松枝小2年 林 佑磨



「勇気と自信と新しい目標」
やまぐち あんり
松枝小5年 安江 瑚雪



「目指す地域社会」
まつもと こうき
笠松中1年 松本 光生

優秀賞

笠松小 2年	まつな 松名 琴乃奏	このか 琴乃奏	下羽栗小 2年	むらせ 村瀬 愁治	しゅうじ 愁治
笠松小 6年	そのべ 園部 陽葵	ひまり ひまり 陽葵	松枝小 6年	まついし 松石 ももな	ももな 桃奈
笠松中 2年	みたに 三谷 彩夏	あやか あやか 彩夏			

入選

笠松小 1年	こみやま 小見山 楓花	ふうか ふうか 楓花	笠松小 4年	はっとり 服部 環菜	かんな かんな 環菜
松枝小 1年	えぐち 江口 舞音	まお まお 舞音	松枝小 4年	わかそね 若曾根 莉穂	りほ りほ 莉穂
下羽栗小 1年	かねまつ 兼松 凜々花	りりか りりか 凜々花	下羽栗小 4年	かわぐち 川口 莉子	りこ りこ 莉子
笠松小 3年	おきむら 置村 悠宜	ひさぎ ひさぎ 悠宜	笠松小 5年	おがわ 小川 果峰	かほ かほ 果峰
松枝小 3年	ひろせ 廣瀬 湊	みなと みなと 湊	下羽栗小 5年	まつばら 松原 立樹	りつき りつき 立樹
下羽栗小 3年	もちだ 餅田 愛美	まなみ まなみ 愛美	下羽栗小 6年	おのぎ 小野木 心華	このか このか 心華